

KX-LAB

KX-LAB

No. 05-071-2022作成

改修・保存
事務所

発注者	鹿島建設株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/IB
設計・監理	KAJIMA DESIGN	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	鹿島建設	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

児童館を次世代リーダー育成のための研修所にコンバージョン

K(鹿島)×**X**(新しさ、変革)×**LAB**(実験、研究)
変革を生み出す場・人材育成の試行の場・新しい働き方の実験の場

■「気づき」・「学び」・「実践」を通じた主体的な成長の場

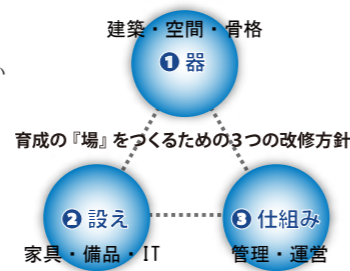
社宅に住む社員子弟に幼児教育を長年行ってきた「鹿島児童館」が役割を終えるにあたり、「人を育てる」というその思いを受け継ぎ、次世代リーダーを育成するための研修所にコンバージョンすることにした。トップライトによる採光や豊かな屋外空間といった建物の長をを活かし各所に既存の素材や設えを残しつつ、幅広い社員が交流し主体的に成長していく場づくりを目指した。

① 器『サードプレイス』

オフィス空間から離れ、スイッチを切り替え、リラックスと集中が両立できる空間。日々の業務から少し離れ、非日常的でリラックスできるような低い天井や壁を取り払い空間を伸びやかにした。新旧の対比が感じられる空間となる。1階ラウンジ等の共用エリアと2階研修エリアの雰囲気を変えて、用途に応じた選択ができるようにした。

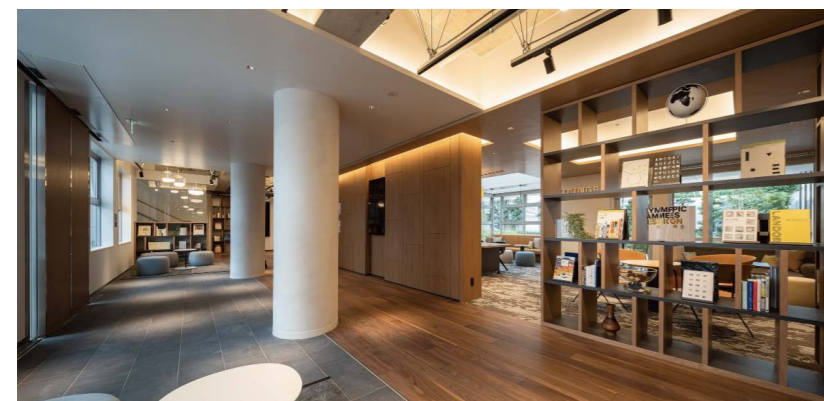
② 設え『インタラクティブ』

ディスカッション・ワークショップ等に適したスタイル。研修室は、可動の家具や間仕切りを採用しディスカッション・ワークショップ・プレゼンテーション等目的や人数に必要なスタイルに容易に対応。廊下と区切るガラスパーティションを解放すると研修室を拡張することも可能。



③ 仕組み『ホスピタリティ』

高いマインドで臨めるホスピタリティに溢れたサービス。運営補助としてコンシェルジュを配置し、きめ細かなサービスの実施。カフェにてコーヒー等のドリンクや食事提供。研修の合間にラウンジで話題の建築やビジネス書が手に取れるよう書籍を配架。鹿島の歴史に触れられるよう鹿島出版会からは関連書籍を配架。



エントランス～ラウンジ

バリアフリーに配慮し段差をなくしたエントランス。視線が抜けるよう壁を取り払い、本棚でゆるくエントランスとラウンジの境界を作った。建築やビジネス書籍を配置し研修の合間に触れられる。



(改修前) エントランス

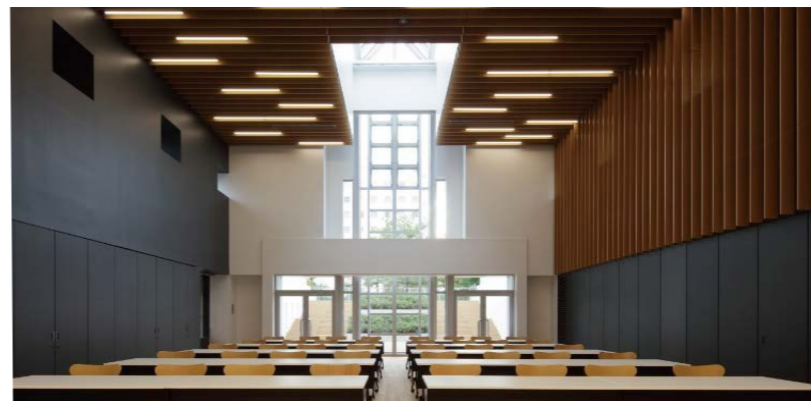


カフェテリア

ライティングレールのペンダント照明を取り外し、大型机(キャスター付・折り畳み式)を容易に移動することで、広々としたスペースを確保。想定される研修最終日の立食パーティ等も対応可能。



(改修前) 食堂

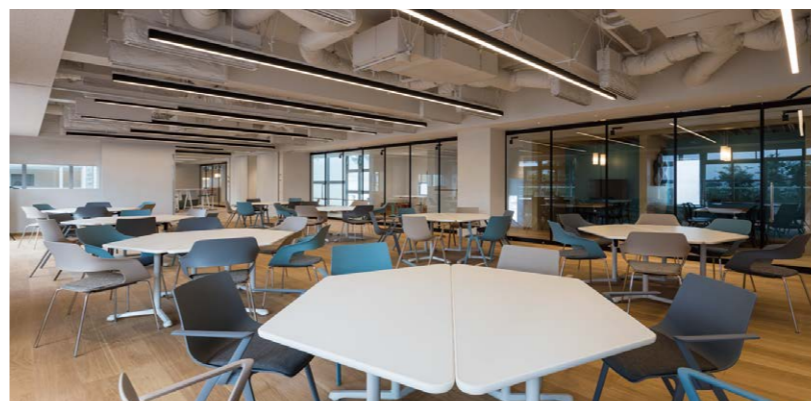


カンファレンスホール

壁から天井に続くホルルーバーでトップライトを強調。照明レイアウトは遊戯している子供たちをイメージし動きを感じるランダムなレイアウトに。床は既存の木フローリングの表面を2mm研磨し、再利用。



(改修前) 遊戯室

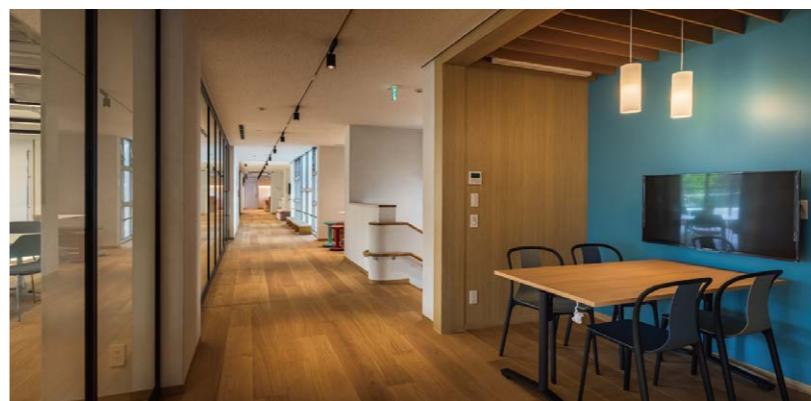


ミーティングルーム

白色の現し天井に、一定間隔で配置した黒色ライン照明が整然としたリズムを刻む。様々な研修や研修以外のディスカッション・ワークショップ、プレゼン等必要なスタイルに対応できるよう、可動間仕切り・可動ガラス間仕切り・可動什器を採用。



(改修前) 児童室



コワーキングスペース

廊下にコワーキングスペースを設け、多様な使い方に対応。研修室の黒いガラスの可動パーティションをあけると廊下やコワーキングスペースと一体の利用が可能。



(改修前) 廊下



屋外スペース

アウトドアワーキングスペースとしてコンセント付きのベンチとテーブルを設置。ロングテーブル・ベンチは園庭のシンボルである既存大ケヤキの影が落ちる位置に配置し、直射を避けられるよう快適性を考慮。



(改修前) 園庭

設計担当者

統括：米田浩二/建築：武本真哉、沖林拓実/構造：河野賢一、中辻享佑、設備/太田浩司、大橋清文、古賀雄大
FP：田中重良、宮本礼/インテリア：株式会社 イリア/外構：株式会社ランドスケープデザイン

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (既存建物の外観保存)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (外壁断熱、ペアガラス)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明、センサー制御、全熱交換器)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型便器)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (既存躯体の継続利用)

建物データ

所在地	東京都豊島区
竣工年	2020年
敷地面積	9,665 m ²
延床面積	1,289 m ²
構造	RC造
階数	地上2階